

まにぐるま 『摩尼車』

△自己責任！
間違ったら
ゴメンなさい…。

昔は、お経/巻物を手の平で
転がしながら読んだ/回転 説法。

字を読めない人は、お経入りの
筒を回し、読経の代わりとした。

ma Ni 'khor lo Mani Wheel

△自己責任！
間違ったら
ゴメンなさい…。

上から見て時計回りに一回転。
→お経を一回、読んだ事になる。

***中身がボン教の経文だと
マシモ車。反対方向に回す。**

Hindu Wisdom God Ganesh
インドの智慧の神 ガネーシャ

父 シヴァ神が「この世で一番の
宝を持ってきたなさい。」あるいは
「世界を一周してきたなさい。」と
命じた。兄弟は すぐ出かけたが
なぜかガネーシャだけは留まった。

父神が出かけない理由を尋ねると
「両親こそ、私の一番の宝です。」
あるいは、「私にとって両親が
世界の全てです。」と答えた。

それを聞いた父神は、「まず何かを
始める時は、必ずガネーシャに
相談しなさい。」と 皆に伝えた。

こんごうしよ ヲアジュラ ドージェ
『金剛杵』 Vajra / Dorje

△自己責任！
間違い御免！

サンスクリット語で、カミナリや
金剛(とても硬い物)等を指すそう。

昔は石や木で作られた。インドラ
(=帝釈天)のヴリトラ退治では、
訳あって 骨で作ったとか。

突起の本数 等で、呼称が異なる。



刃(突起)が一つだと、独鉗(どっこ)
又は独鉗杵(どっこしよ)と呼ばれる。



十字型・剣型 等々…、形状も豊富。
武器が時代を経て仏具に。現地の
お土産屋には置物やアクセが並ぶ。

Brass Tiger Lock 真ちゅう『虎の錠前』

①棒先を凹みに… ②おしこむ！



Dung Dkar(トゥンクル) / Shanka(シャンカ)

『ヒンドゥー ホラ貝』

△自己責任！
間違ったら
ゴメンなさい…。

海が無いネパール製。材料はインド産。(※)

昔は戦争用で、今はヒンドゥーの儀式用。

(↑ライオンの鳴き声を模して 敵を威嚇?)

太陽に向けてナマス持ち。感謝を捧げ吹く。

実際の儀式には、装飾などのない無地を使用。

吹くと 虫がいなくなるそう。(音と振動で?)

※学名: Turbinella pyrum=シャンク貝

ヴィシュヌの象徴でラクシュミの住居だそう。